

バレーボール競技

- 1 目的 本大会は、中学校教育の一環として、中学校生徒に広くスポーツ実践の機会を与え、体力・技能の向上とスポーツマンシップの高揚を図り、心身ともに健全な中学生を育成する。
- 2 主催 高松地区中学校長会
高松市教育委員会・三木町教育委員会・直島町教育委員会
高松地区中学校体育連盟
- 3 後援 高松市バレーボール協会
- 4 主管 高松地区中学校体育連盟バレーボール競技部
- 5 期日 令和6年7月6日(土)・7日(日)
- 6 場所 高松市総合体育館
- 7 参加資格 学校部活動においては、高松地区内の中学校に在籍する生徒であること。
地域クラブ活動においては、高松地区中学校体育連盟が定めている「高松地区体育連盟主催大会への地域クラブ活動の参加規程」を遵守している団体であること。
- 8 競技規則 令和6年度(財)日本バレーボール協会6人制競技規則による。
- 9 競技役員
- | | | | | | |
|--------|-------------------|------|------|-------|-------|
| 競技委員長 | 仁谷美樹 | | | | |
| 競技副委員長 | 武藤成継 | 小野智史 | | | |
| 総務 | 河野証憲 | | | | |
| 競技委員 | 岡雅彦 | 岩部猛 | | | |
| 審判長 | 高橋宏行 | | | | |
| 副審判長 | 角谷健太 | | | | |
| 審判員 | 近藤匡史 | 濱名浩之 | 坂井建太 | 豊島大輔 | 林由加理 |
| | 森愛美 | 峯川真武 | 松本努 | 高橋すみれ | 佐藤侑樹 |
| | 矢野美涼 | 植松彩香 | 矢野秀樹 | 稲木梨沙 | 廣瀬しずく |
| | 藤井康平 | 槍水智哉 | 谷川花連 | 石床太一 | |
| | 高松市バレーボール協会派遣審判委員 | | | | |
- 進行係 河野証憲
記録 熊野誉絵
浄書 池田彰子
会場主任 木村庄吾
救護 岡谷愛莉香(6日) 桑原采佳(7日)
- 10 競技規定
- (1) 競技種目及び人員
- ① 男子の部及び女子の部
 - ② 参加生徒数 6名～12名(マネージャーを入れると13名)
 - ③ ベンチは監督1名、コーチ1名、マネージャー1名(生徒)、選手12名までとする。
 - ④ 高松地区大会に関わる合同チーム編成規定による合同チームの参加を認める。
- (2) 規定
- ① 令和6年度日本バレーボール協会6人ルールによる。
(ただし、中体連の競技規則にのっとり、従来どおりのルールで行う。)
 - ② ネットの高さは、男子2.30m、女子2.15m。
 - ③ 公式練習は毎試合行う。
 - ④ 試合は男女とも、トーナメント方式とする。
 - ⑤ 試合球は、男女ともに人工皮革4号カラーボールを使用する。
 - ⑥ 服装は上下ともユニフォームを着用し、監督章、コーチ章、マネージャー章、主将章を必ずつけること。外部コーチは外部コーチ登録章もつけること
 - ⑦ ラインアップシートは、セット毎にファーストレフリーまたはセカンドレフリーへ提出する。
- 11 県大会出場権 ベスト8(男女とも)
- 12 その他
- (1) ラインズマン(線審)は、第1試合は第3試合のチームから、第2試合からは、前試合のチームからそれぞれ3名を出す。(エントリー内選手)※変更あり
 - (2) コートのワイピングは、コート内の選手が行う。タイムアウト、セット間は、ベンチの者が行う。タオルは、各チームで用意。
 - (3) 大会中の事故については、独立行政法人日本スポーツ振興センター法の規定を適用する。
ただし、地域クラブ活動から参加している選手については、チームが独自に加入している保険を適用する。